

県の人口目標について

【県の人口目標と市町人口目標の合計】

	総人口		出生数	
	2040	2060	2040	2060
市町合計 (a)	1,353,465	1,240,974	13,290	12,444
県目標 (原案) (b)	1,376,387	1,289,319	13,000	13,000
差 (a-b)	△ 22,922	△ 48,345	290	△ 556
県目標 (見直し案) (c)	1,371,769	1,284,845	13,000	13,000
差 (a-c)	△ 18,304	△ 43,871	290	△ 556

【県の人口目標と市町合計との差】

○2040 年の出生数には大きな差がなく、社会増減 (転出・転入) の目標設定の相異によるもの

・自然増減

〔県〕 13,000 人の出生数を 2060 年まで維持。この場合、合計特殊出生率は 2030 年に 1.87、2040 年に 1.94 となる。

〔市町〕 多くの市町で合計特殊出生率を国と同じに設定 (2030 年に 1.80、2040 年に 2.07 とし、その後維持する。)

・社会増減

〔県〕 国立社会保障・人口問題研究所 (社人研) の推計を基本として、転出超過が続く 20～24 歳の転出超過をゼロに設定

〔市町〕 社人研推計を基本 (一部の市町で社人研推計よりも低い目標の設定を検討されている。)

【県の人口目標の見直し (案)】

〔出生数〕 2020 年に出生数 13,000 人とし、その水準を維持する。

(人口目標 (原案)) 年 13,000 人

(2015 年から出生数を 13,000 人)

↓

(人口目標 (案)) 2020 年に出生数 13,000 人とし、その水準を維持

(2015 年を 12,500 人と想定し、2020 年に 13,000 人)

〔社会増減〕 20～24 歳の社会増減を 2020 年に 0 (ゼロ) にする。

(人口目標 (原案)) 20～24 歳の社会増減を 0

(2015 年から 1,000 人以上の社会減をゼロ)

↓

(人口目標 (案)) 20～24 歳の社会増減を 2020 年にゼロ

(2020 年に 1,000 人以上の社会増減をゼロ)